

令和3年度



# 東明小だより

第3号

令和3年5月25日(火)

## 「自分の命は自分で守る」

～安全のためにできること～

校長 奥村 哲也

5月のある日、横断歩道の所で子どもたちの登校の様子を見ていました。サポーターや駐在所の方が子どもたちの横断を見守ってくださっています。高学年の通学班リーダーが笛や旗を使って下級生を安全に横断させてくれていました。

子どもたちが登校してきた教室の様子を見ていました。2年生の教室では、窓係のかりんさんが、背伸びをしながら頑張って窓を開けています。窓を開け、換気をすることでコロナウイルス感染からみんなを守ってくれていました。

放課後、校務主任が体育館北側通路にあったハチの巣をスプレーと棒を使って取り除いてくれました。中庭で遊んでいた子どもたちが見つけたそうです。刺される児童が無くてなによりでした。

さて、4月下旬に低学年の「交通安全教室」を行い、交通安全協会、交通指導員、警察署など関係の皆様から指導を受けました。実際に道路に出て横断歩道を渡る練習をした時のこと、指導員さんは、「前の子についていくだけでは、だめですよ。右見て、左見て、もう一度右を見て、自分で安全を確かめてから渡るんですよ。」ということを繰り返し口にしてみえました。



2021/04/22 低学年交通安全教室の様子

学校生活において、すべてが安全だとは言いきれません。色々な場所に、様々な危険が潜んでいます。それゆえ、安全な生活ができるように環境を整えたり、多くの方に見守っていただいたりしているところです。そうした中で大切なのは、「自分の命は自分で守る」という意識です。車が来ないか自分で確かめて横断する、感染しないように自分でできる予防を考える、ハチの巣を見つけたら近寄らないように判断するなど、子どもたちが自分で確かめ、考え、判断する力を身に付けていくことができるようにしたいと思います。

関係の皆様には、見守り等いつもありがとうございます。子どもたちの安全のためこれからもご協力をお願いします。